

北大フロンティア基金寄附募集事業 「札幌博物場 150 年史～ 開拓使・札幌農学校以来の蓄積 ～」 刊行資金の支援 趣意書

北方生物圏フィールド科学センター耕地圏ステーション植物園の博物館部門は、開拓使が 1877 年に設置した札幌博物場を起源とする博物館で、2027 年に創立 150 周年を迎える北海道最古の博物館施設です。1884 年に札幌農学校所属博物館となり、大学博物館としても日本で最も長い歴史をもっています。絶滅種エゾオオカミの剥製やブラキストン線の提唱の根拠となった鳥類標本をはじめとする動物学標本、明治・昭和期に収集・購入したアイヌ民族の文化資料、北海道考古学の黎明期の拠点として積極的に収集された考古学資料、南極に派遣されたカラフト犬タロなどの周知の重要資料のほか、大学博物館として受け入れ続けている北海道大学における研究活動の証拠としての学術標本を多数所蔵するだけでなく、新たな研究活動の資源として提供しています。また、管理する博物館建築の多くは重要文化財に指定され、建築史や建築意匠史の研究材料になるとともに、北海道を訪れる多くの観光客にも親しまれています。

しかしながら、この歴史的・現代的価値を有する博物館や所蔵・管理する研究資源については、詳しい紹介がまとめられたことがないだけでなく、その歴史の長さゆえに誤った情報が引き継がれていることが少なくありません。そこで、創立 150 周年を迎えることを契機に、今後博物館や所蔵資料を活用する研究者だけでなく、来館者の学びの参考材料になるような、博物館・所蔵資料・建築物の歴史や背景情報を取りまとめた「札幌博物場 150 年史」を刊行することとしました。

原稿は完成しており、図書館、大学、博物館等において恒久的に所蔵される書籍として販売した後は、多くの学生や来館者に気楽に手に取ってもらえるよう、附属図書館の学術成果コレクション HUSCAP で無料公開する計画を進めています。

「札幌博物場 150 年史」の刊行は、北海道大学の 150 年の学術資源の蓄積と継承活動への理解を深めるだけでなく、未来の研究者の活用を促進するものです。この刊行に向けてお力添えいただきますよう、お願い申し上げます。

基金の使徒

「札幌博物場 150 年史」の刊行にかかわる費用に充てるための募金です。目標金額は、白黒印刷を前提としたもので、多くの支援をいただくことで、写真のカラー印刷など、良質の書籍を製作することができます。

本書刊行後、内容を絞り込んだ来館者向けの展示解説書、建築物解説書などの刊行にも役立ててゆきます。

ご寄附の特典

北海道大学出版会との打ち合わせ段階の販売予価は 30,000 円であり、学生をはじめ多くの方に気軽に手に取っていただける金額ではありません。本書の刊行目的が、博物館と所蔵研究資源を正しく理解して、それを利活用していただくためのもの

のであることから、多くの方に手に取ってもらえるように将来的な無料配布の計画を進めていますが、ご支援いただいた皆様には、刊行と同時に「札幌博物館 150 年史」の電子データを提供します。

また、一定金額以上のご寄附をいただいた方には、通常非公開の博物館のバックヤード見学も予定しています。※交通費等をご負担いただきます。

その他「北大フロンティア基金」の特典が適用されます。